DBSJ和文論文誌サンプル

情報 太郎1 情報 花子2

ここに和文アブストラクトを記載します．**英文アブストラクトは不要です．**

1. サンプルPDFファイル

LaTeX用スタイルファイル一式の中に，説明を含んだサンプルのPDF（sample\_ja.pdf）がありますので，参考にしてください．

1. フォント

論文タイトル，著者名，見出しの文字については原則MSゴシックを用いてください．他の文字については原則MS明朝を用いてください．英文についてはTimes New Romanを用いてください．

フォントサイズの目安については，本文書を参考にしてください．

1. ヘッダー

以下の2点について注意してください．

* 1. 論文誌の種別

日本データベース学会論文誌の論文には，「一般論文」，「システム開発・産業論文」，「サーベイ論文」，「特別寄稿」の4つの種別があります．適切なものを記載してください．

* 1. 巻，論文番号，発表年月について

投稿時には，これらについての修正は不要で，デフォルトの設定のままで投稿してください．

これらについては，最終原稿の作成依頼時に，編集委員会より指示します．

1 正会員 DBSJ大学 データ工学研究科 taro@sample.email.ac.jp

2 学生会員 DBSJ大学 データ工学科 hanako@sample.email.ac.jp

1. 著者所属等

各著者について，正会員，名誉会員，学生会員，非会員の区別，所属，メールアドレスについて，1ページ目左下に記載してください．なお，**英文タイトル，英文著者名は不要です．**

1. ページ番号とDBSJロゴ

中央にページ番号（1ページから開始）を入れてください．右下には日本データベース学会のロゴが入ります．

1. ページ数

日本データベース学会和文論文誌のページ数は原則**8ページ**までとなっています．投稿時には上限を超えないよう執筆してください．

なお，採録通知後，編集委員会からの指示によりページ数が8ページを超えた場合は問題としません．

また，サーベイ論文については8ページを超えたページ数の論文を受け付けることがありますので，論文誌編集委員会にご相談ください．

1. 図と表

sample\_ja.pdfの例を参考にしてください．**表の書式は自由です．**

1. 参考文献

論文末尾に参考文献を入れてください．**書式は任意です．**

1. 著者紹介

以前の日本データベース学会論文誌では著者紹介を末尾に入れていましたが，廃止いたしました．

参考文献

1. E. F. Codd. A relational model for data for large shared data banks. *Comm. ACM*, 13(6): 377-387, 1970.